

5年生 社会⑫

暑さや台風と、沖縄県の人々の暮らし 教科書 P34～35

【用意するもの】

・教科書 ・地図帳 ・社会のノート ・筆記用具

【授業の流れ】

- 教科書をよく読んで、課題を進めよう。
- 問題の答えは、すべてえんぴつでノートに書こう。

めあて ノートに赤えんぴつでめあてを書こう！

沖縄でくらす人々は、暑さや台風に備え、どのようなことをしているのだろう。

①教科書34～35ページをよく読もう。

㊦のグラフから、沖縄県はほかの県に比べて、
台風の近づく回数が多いことが分かるね！

②教科書の㊦の資料を見て、農家の人々が台風に備えて行っている工夫を書こう。
(2つ書こう！)

③教科書の㊧の資料を見て、台風に備えて家のつくりなどにどのような工夫をしているかを考えて書こう。(2つ以上書こう！)

教科書35ページの「沖縄県に住む人の話」
もヒントになるかもなあ・・・

④ 沖縄県はこれまで、水不足になやまされることがありました。

① 台風などで大雨が降ることが多いのに、なぜ、水不足に悩まされているのだろう？（2つ書こう。）

教科書に書いてあるよ！
地形と気候の学習で学んだところだ！
覚えているかな？

② 水不足に備える施設として、教科書に書いてあるものを3つ書こう。

水不足対策のために、沖縄には水をためる
タンクのある家も多いんだって！

⑤ 教科書35ページの「忘れてはならない歴史」をじっくり読もう。

沖縄県では、戦争で約59万人の人口のうち、12万人以上
もの人が犠牲になってしまったんだね。
戦争のおそろしさを人々が忘れないように、
語り部の人はその時の体験を伝えているんだね。

⑥ あたたかい気候（沖縄県）の暮らしについて、学んだことや分かったことなどを思い出しながら、自分の言葉でまとめてみよう。

～先生から～

5年生のみなさん、こんにちは！お家ではどのように過ごしていますか？課題は順調ですか？ふだん学校で勉強することを、おうちで勉強するのはとても大変だと思います。まだ習っていないことばかりだから、わからないところもたくさんあったかな？わからなかったところは、空欄のままでもいいので、学校が始まったときに遠慮なく聞いてください。授業で確認もするから安心してください。「ああ、学校が始まったらこんな学習をするのか～」というくらいの、楽な気持ちで課題に取り組んでみてね！

先生は、毎回プリントを作りながら、早くみんなと楽しい授業をしたいなと思いました！“楽しく学ぶ”が先生のモットーなので、みんなも楽しみにしててください！